

令和初開催！高校生たちが花で「未来」を表現します。 「Ikenobo花の甲子園2019」新潟県大会 新潟県立中条高等学校（胎内市）が優勝 ～11月17日（日）に京都・池坊会館で開催する「全国大会」に出場決定～

華道家元池坊（本部：京都市）は、全国147校が高校華道日本一を競う、日本最大の高校華道コンクール「Ikenobo 花の甲子園2019」新潟県大会を、9月1日（日）NSTゆめホール（新潟市）で開催しました。その結果、**新潟県立中条高等学校（胎内市）が優勝**、新潟県代表として全国大会行きの切符をつかみました。

「ローダンセ」というチーム名で参加した、新潟県立中条高等学校3年生の伊藤 凜さん（18歳）、中村 萌野香さん（17歳）、佐藤 玲美さん（17歳）の3人は、「令和元年を向かえ、新しい時代へ踏み出した。これから様々な場面でAIが中心になると言われているが、いけばなはどんなに時代が進んでもAIに奪われることはない。それは感性が重要となるから。古来から培ってきた日本人の感性はこれからも変わらず、子孫に受け継がれていくと思う。花に対する私たちの変わらぬ思いをこれからも伝えていきたい」という思いを込め、作品を披露しました。3人は、「夏休みも放課後も毎日残り、先生方からアドバイスをもらい、改善しながら頑張った。全国大会でも練習の成果を発揮し、悔いが残らないよう、頑張ります。」と話しました。

「Ikenobo花の甲子園」は、高校で池坊いけばなを学ぶ生徒3人がチームを組み、作品を披露する公開コンクールで、今回で11回目を迎えました。8月～9月にかけて全国15か所の地区大会を開催し、各地区の優勝校が11月17日（日）に京都の池坊会館で開催される全国大会で高校華道日本一を競います。新潟県大会では、計5校が参加し、全国大会の1枠を競いました。

概要は下記のとおりです。

◆「Ikenobo 花の甲子園2019」新潟県大会優勝校◆

学校名：新潟県立中条高等学校

所在地：新潟県胎内市東本町19-1

チーム名：ローダンセ

- ・伊藤 凜さん（18歳）3年生
- ・中村 萌野香さん（17歳）3年生
- ・佐藤 玲美さん（17歳）3年生

使用花材：カラジウム、トクサ、ヤツデなど



※画像は、以下WEBサイトにて、JPGデータをダウンロードいただけます。

TMオフィスWEBサイト <http://www.tm-office.co.jp>（「TMオフィス」で検索）

「報道資料・画像」ページを、以下ID、PWで開いてください。

ID: press PW: press

画像ダウンロードサイト
アクセス用 QRコード



「Ikenobo 花の甲子園2019」新潟県地区大会
【開催概要】

- ◆名称：「Ikenobo 花の甲子園2019」新潟県大会
- ◆開催日：2019年9月1日（日）13時～16時
- ◆会場：NSTゆめホール（新潟市中央区八千代2-3-1）
- ◆主催・共催：一般財団法人 池坊華道会 華道家元池坊総務所
- ◆特別協賛：ANA（全日空）
- ◆審査課題：いけこみ時間は30分。その後、作品解説。（持ち時間各チーム3分）
花器は自由花指定花器、黒コンポート、そして各校オリジナルのアイデア自由花を各1作の合計3作。公開で指定の花材をいけ、チームの合計点で評価する。
また持込花材を1つの花器に1種類ずつ使用すること。作品テーマは「私たちの未来」。
- ◆審査方法：いけばな作品として構成力、技術力、表現力など審査。またチームワーク、パフォーマンスなどの観点で審査を行います。作品の巧拙だけではなく、高校生ならではの瑞々しい感性、大胆な発想も審査の対象です。
- ◆出場校 5校 ※（ ）内はチーム名
【新潟県】新潟県立三条東高等学校（ひめさゆり）
新潟県立中条高等学校（ローダンセ）
新潟県立村上高等学校（華鳥風月）
新潟県立吉田高等学校（＜Color's（くれっしえんどからーず）＞）
新潟青陵高等学校（海薔薇（あおばら））

《本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします》

一般財団法人池坊華道会 安藤・白井 TEL：075-231-4922 FAX：075-255-3568

株式会社T Mオフィス 馬場・松ヶ根 TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440

E-MAIL：ikenobo@tm-office.co.jp

◆華道家元池坊 公式WEBサイト <http://www.ikenobo.jp>

◆Ikenobo花の甲子園 特設WEBサイト https://www.ikenobo.jp/hana_no_koushien